

第23 回総合学術研究集会 in 東京

人間の尊厳と平和で持続可能な社会を求めて
—科学者と市民の共同を探求する—

2020年12月4日(金)～6日(日)

会場: 都内(文京区)の大学を予定

第23 回総合学術研究集会開催にあたって

1976年以來、隔年で開催されてきた日本科学者会議主催の総合学術研究集会は、23回を迎え、今年12月東京において開催することとなりました。そのメインテーマを**人間の尊厳と平和で持続可能な社会を求めて—科学者と市民の共同を探求する—**と提案します。このメインテーマおよび企画内容への積極的なご提案を歓迎します。

世界はいま、深刻な気候変動、空前の規模で広がる貧困と格差の拡大など、人類の存続にも関わるおおきな岐路に立たされています。また核兵器禁止条約採択を力に核兵器廃絶の運動が高まる一方、中東や朝鮮半島などでは緊張状態が続き、武力攻撃の応酬や核抑止論から抜けだして真に平和で豊かな社会への道へ踏み出すかどうかの岐路でもあります。そしていま規制緩和、市場原理の政策で、多国籍企業と少数者への富の異常な集中と貧困の拡大をもたらした新自由主義に対し反撃が起こっています。

日本国内では、アベノミクスの7年間で大企業に莫大な内部留保がため込まれる一方、国民生活は深刻なしわ寄せを受け、貧困・格差が著しく拡大しています。安倍首相は憲法9条改憲に執念を燃やす一方、政治の私物化、虚偽答弁、公文書隠蔽・改ざんなど立憲主義破壊が常態化しています。軍事費は5兆円を大きく超え、海外で戦争する体制を築きつつあり、軍事研究への研究者の取り込みを強めています。官邸筋は「研究力低下」論を振りまき、大学や国公立試験研究機関に「改革」を押しつけ、大学予算や人事への介入を強め、学術の危機は深刻さを増しています。

こうした政治を改め個人の尊厳を擁護する政治の実現をめざす市民と立憲野党の共同が広がっています。また国の内外で気候変動や格差解消などの幅広い課題の解決をめざし「持続可能な開発」が強調されています。日本政府は「持続可能な開発」の取り組みをアピールしますが、気候変動問題の解決を法規制でなく企業の自主活動に依存し、日本の最大のCO₂排出源である石炭火力発電や取返しのつかない環境破壊・生活破壊リスクの大きい原子力発電に依存したエネルギー計画に固執し、気候変動問題に不誠実な態

度を取り続けています。政府が見せかけではなく人類の未来に真に責任ある行動をとるよう、わたしたち科学者・技術者は科学的な監視と具体的な提案が求められています。

いま人びとが直面するどの課題でも、個人の尊厳が守られ豊かな前途につながる新しい選択肢の探求が求められており、人びとはそのための科学を切実に求めています。いままさに日本科学者会議の出番です。日本科学者会議は、幅広い研究分野の研究者が、専門を超えて「日本の科学の進歩と平和・独立・民主主義・人びとの生活向上のために」（会則前文）結集した団体です。人びとの切実な要求にたいして科学的根拠を提供し、その実現のために市民との共同・連帯を探求する、第23回総合学術研究集会を、そうした議論と交流の場として成功させるために力を合わせましょう。

実行委員長 松永光司（東京支部代表幹事）

分科会の設置を募集します

分科会を募集します。会員ならだれでも分科会の設置申請ができます。ふるってご応募ください。分科会のテーマ設定の便宜のために、いま社会的に強い関心が持たれていることがらとして、以下のようなキーワードを例示します。これらをひとつの参考としつつ、多様なテーマの分科会をぜひご提案ください。

○個人の尊厳、ジェンダー平等、多様性の尊重 ジェンダー平等、女性の賃金格差解消、選択的夫婦別姓、LGBT、マイノリティー問題、ハラスメント、#Me Too、日本国憲法第25条と自治体・政府の義務、健康格差の解消、地域包括ケアシステム、独居高齢者の看取り、性暴力と刑法改定

○平和な時代を拓く： 安倍改憲阻止、市民と野党の共闘、核兵器禁止条約、米・小型核配備、軍学共同、研究者の社会的責任・国民との共同、米国兵器爆買い・軍需産業育成、イージス・アショア配備・町長が撤回要求、朝鮮半島非核化、米・中東和平案、自衛隊中東派遣、辺野古新基地埋め立て、軍事同盟からの脱却、日米地位協定抜本見直し、自治権の保障、歴史修正・戦争責任、語り継ぐ「平和 沖縄、ヘイトスピーチ

○地球環境の危機的状況の克服、原発、環境問題の解決をめざして 日本学術会議 学会 自治体が「気候非常事態宣言」、パリ協定、温室効果ガス排出削減目標、エネルギー基本計画、再生可能エネルギー、石炭火力発電、東電福島第一原発事故、原発ゼロ、内部被曝の健康影響、政府小委員会が福島第一処理水海洋放出検討、使用済燃料処理、広島高裁伊方3号機運転差止め仮処分決定、大阪高裁関西電力大飯原発3・4号機運転差止め仮処分抗告棄却、新規制基準、「生業を返せ、地域を返せ！」福島原発訴訟、公害訴訟、海鳥にプラごみ蓄積、水俣病認定基準、築地市場豊洲移転、リニア中央新幹線問題、ヒートアイランド現象、沿岸域の環境問題、SDG's

○防災・減災、災害の復興 地震・火山噴火・集中豪雨など激甚化・広域化する災害への対応、東日本大震災からの早期復興、東電福島第一原発事故の責任と補償、被災地第一次産業の復興、被災者の権利、辺野古新基地建設は環境アセスメント軽視で環境破壊、辺野古海域の活断層と軟弱地盤、南海・ラフ、復興と利権行政

○人間らしい労働、暮らしを守る経済、地域社会の再生 大企業・富裕層と勤労市民との所得格差の急拡大、トリクルダウン論破綻、アベノミクスの総破綻、過労死、ワークライフバランス、多様な働き方、ジェンダー平等、不安定雇用、少子化・人口減少、消費税増税による生活破壊、同一労働同一賃金、全国一律最賃制、食料自給率、遺伝子組み換え食品、新型コロナウイルス感染、TPP、巨大IT企業課税、経済の軍事化、高齢者、母子(父子)家庭の貧困化、知的財産政策、循環型地域経済、公正取引、農林漁業と食糧問題、小規模家族経営、地方自治体消滅可能性、ふるさと納税

○科学 技術の現状批判と課題 輸送・電力・通信で多発する事故、ネット犯罪の重大化、個人情報情報の漏洩・不正利用、総務省有識者会議がサイバー攻撃阻止へ緊急提言、サイバーセキュリティ、官邸主導の「科学技術イノベーション戦略」、「ムーンショット型研究開発制度」に政府予算1150億円、量子技術イノベーション戦略、知的財産権制度、IoTシステム、ビッグデータ解析、AI、監視カメラ急増、IT・AIによる労働強化、巨大IT企業の規制強化にむけ新法律案、リニア中央新幹線問題、iPS心筋移植治験開始、東京臨海部で自動運転実証実験開始、吉野彰氏ノーベル化学賞

○学術研究体制の危機と大学 研究機関、研究者の権利 社会的責任 競争政策と構成員の分断、学術研究体制崩壊の危機、学問の自由・大学の自治、日本の「研究力低下」論、貧困問題の深刻化と教育現場、低額の私学助成金、国立大学・研究機関の空前の予算緊縮、奨学金ローン化問題、授業料無償化、大学入学共通テスト、財界の大学支配、官邸主導の大学改革、不安定雇用と女性研究者の実情、裁量労働制導入、統合イノベーション戦略、研究者の権利・地位と倫理、研究不正とアカデミックハラスメント、市民と科学者を結ぶ『日本の科学者』、平和教育実践研究

○文化、芸術、スポーツ、思想、その他 生命倫理、優生思想、東京オリンピック・パラリンピック

<分科会設置の申込要領>

- 分科会設置の申込み締め切りは2020年5月10日(日)とします。
- 申込は原則としてeメール(実行委員会アドレス 23sogaku@jisa.gr.jp)とします。
- 分科会設置申込書は、JSAウェブサイト<http://www.jisa.gr.jp>の23総学のページにあります。この申込用紙に氏名、所属、連絡先、分科会名、設置の趣旨(200字程度)を明記してeメールに添付し送信してください(郵送も受け付けます)。

23 総学 n 東京 日程概要(企画の都合で一部変更となる場合があります)

日 曜	午前 9:30~12:00	午後1 13:00~15:30	午後2 15:40~18:10	夕 18:20~20:30
4 金	エクスカッション1(都区内)		全体会1 開会式 特別講演1	交流企画 文化企画
5 土	分科会1	分科会2	全体会2 特別講演2	懇親会
6 日	分科会3	分科会4	分科会5	
7 月	エクスカッション2(都内、都近県)			

アンケートにご協力ください

第一次締切: 4 月末日、最終締切: 5 月末日

*回答用紙はJSA ウェブサイト<http://www.jsa.gr.jp> の23 総学のページにあります
*返信先 23sogaku@jsa.gr.jp (Fax 可:03-3811-8281) へ回答を送信ください。

1. 実行委員会では23総学の基本テーマ案を下記のように提案いたします。より充実したものにするためご意見を募集しています。ご意見をお寄せください。

「人間の尊厳と平和で持続可能な社会を求めて—科学者と市民の共同を探求する—」

2. 23総学で参加したいと思う分野・テーマは何ですか。(該当の番号に○をつけてください。各項の内容は上記キーワードを参考にしてください)

①個人の尊厳、ジェンダー平等、多様性の尊重、②平和な時代を拓く、③地球環境の危機的状況の克服をめざして、④防災・減災、災害の復興、⑤人間らしい労働、暮らしを守る経済・地域社会の再生、⑥科学・技術の現状批判と課題、⑦学術研究体制の危機と大学・研究機関、研究者の権利・社会的責任、⑧文化、芸術、スポーツ、思想、その他

上記以外に希望するテーマがあれば、お書きください。()

3. エクスカーションを検討中です。参加してみたいものを選んでください。

(以下は検討中の案です。ご希望の多い項目を具体化したいと考えています)

- ① 靖国神社 遊就館 視察(専門家が案内)
- ② 葛飾柴又の寅さん記念館訪問(松竹公認の「寅さんガイド」が案内)
- ③ 東京の戦争遺跡(明治大学登戸研究所、東京大空襲 戦災資料センターなど)
- ④ 五日市憲法の里を訪ねる。 ⑤国立天文台見学(専門家のJSA 会員による案内)
- ⑥ 山梨 ニア実験線を訪ねり ニア問題を考える(リニア研究会)

4. 23 総学に期待すること、ご意見等を、自由にお書きください。

第23 回総合学術研究集会実行委員会 (2 月27 日現在、五十音順)

実行委員: 亀山統一(沖縄支部)、河野 仁(研究企画部)、小滝豊美(茨城支部)、後藤仁敏(神奈川支部)、☆佐久間英俊(東京支部事務局次長)、○重松公司(研究企画部長)、丹生淳郷(埼玉支部)、◎松永光司(東京支部代表幹事)、三木敦朗(長野支部)、矢田俊文(新潟支部)

◎: 実行委員長、○: 副実行委員長、☆: 事務局長

現地実行委員: 青木和光(東京支部事務局次長)、小尾晴美(東京支部)、衣川清子(東京支部常任幹事)、中川 功(東京支部)、中島明子(東京支部常任幹事)、中西大輔(東京支部)、中野貞彦(東京支部常任幹事)、森原康仁(東京支部事務局次長)、山村延郎(東京支部幹事)、吉村さくら(東京支部常任幹事)、米田 貢(東京支部事務局次長)

日本科学者会議 第23 回総合学術研究集会実行委員会

〒113-0034 東京都文京区湯島1-9-15 HY ビル(茶州ビル)9 階

Tel :03-3812-1472 Fax :03-3813-2363 e-mail :23sogaku@jsa.gr.jp <http://www.jsa.gr.jp>